

(小海町立小海小学校) 「小海町放課後子ども教室」

事業実施状況

担当課・係	子育て支援課子育て支援係	
主な活動場所	児童館	
	エアコンの設置(有(無))	
対象児童	小学校1～6年生	
実施日等	平日	水曜日 放課後午後3時～6時
	土日	土曜日 午前8時30分～12時
	長期休業	夏休み2日間、春休み1日間
帰宅方法	一般児童と同じ	
負担金	なし	
登録者数	95人(一日平均35人参加)	



【スタッフ(人数)】

地域学校協働活動推進員 (コーディネーター等)	協働活動支援員	2
協働活動サポーター	特別支援サポーター	
ボランティア	児童館職員	3

【特徴・連携等】

他事業との連携	児童クラブ	○	学習活動の特徴	自主学习	○
	学校支援	—		学習支援	—
体験活動等の特徴	自由活動型	○	その他の連携	保護者	—
	プログラム型	○		他団体、組織	—

活動内容

- 常勤職員3人と協働活動支援員で行なっている
- いろいろな体験が出来るように地域の方の協力をお願いしながら行事を計画する。
- 囲碁・将棋教室は、月2回くらいのペースでボランティアの方が来館し相手になってくれている。
- 人数を見ながら、異年齢の交流ができるように縦割りのグループを作り、行事を進めている。
- スポーツ教室(ソフトバレー、カローリング、ドッジボール、大縄跳びなど)
- 体験教室 (そば打ち、お茶、恵方巻き、パン作り、しめ縄作りなど)
- 物づくり教室(編み物、リース、ミサンガ、切り紙など)

気づいたことや成果

- 初めは渋っていた子どもも、やり始めてみると夢中になっている。
- 異年齢グループにすることで大きい子が小さい子を気づかって上げられるようになってきた。

課題や反省点

- ・いかに多くの子を行事に呼び込むか。
- ・自分の思うようにならないので参加をしない子をどう巻き込んでいくか。
- ・行事に参加しない子のスペースの確保が難しい。

子ども・保護者の声

〈子どもの声〉

- ◇今日はなにやるの？
- ◇またやりたい！
- ◇嫌だと思ったけど、やってみたら楽しかった。

〈保護者の声〉

- ◇安心して預けておけるので助かる。
- ◇いろいろな経験をさせてもらえてありがたい。

(軽井沢町立中部小学校)「中地区児童館」

事業実施状況

担当課・係	軽井沢町教育委員会 こども教育課児童係	
主な活動場所	中地区児童館 中部小学校校庭及び体育館	
	エアコンの設置(有(無))	
対象児童	小学校 1~6 年生	
実施日等	平日	月曜日~金曜日 放課後~18時
	土日	児童館としてのみ開館
	長期休業	夏休み10日間、春休み7日間
帰宅方法	保護者の責任において お迎え・自力帰宅・バス	
負担金	なし	
登録者数	374人(一日平均 140人参加)	



【スタッフ(人数)】

地域学校協働活動推進員 (コーディネーター等)	1	協働活動支援員	5
協働活動サポーター	6	特別支援サポーター	0
ボランティア	0		

【特徴・連携等】

他事業との連携	児童クラブ	—	学習活動の特徴	自主学习	—
	学校支援	○		学習支援	○
体験活動等の特徴	自由活動型	—	その他の連携	保護者	—
	プログラム型	○		他団体、組織	○

活動内容

○登校日は毎日開室。来館した児童はまず宿題にとりかかり、学習の済んだ児童から、遊戯室、図書室、多目的室小学校校庭などで自由に遊ぶ。年末には来館児童全員で遊具の拭き掃除を行う。

○体験教室は月1回のペースで行っている。地域の方々に講師として来ていただき、スポーツや文化活動など、異年齢の関わりを大切に実施している。(全員参加のものもあるが、多くは事前申し込み制)

- ・SC軽井沢に講師依頼をして実施 : 子ども体育塾・サッカー教室
- ・地域の方に講師依頼をして実施 : バルーンアートに挑戦・マジックを見よう・ヨガ教室
・自然物を使って工作しよう・ボディーパーカッション
・ニュースポーツ・ブローライフル・ミニ音楽会
・プラバン工作
- ・児童館職員だけの取り組み : セタかざり・シャボン玉・豆まき・紙飛行機を作って飛ばそう

気づいたことや成果

○子どもたちの安全で安心な居場所として、長期休業を除けばほぼ毎日140~150名の子どもが利用し、活気に満ちている。利用人数が多い割りに大きな怪我や問題もなくここまで来ている。
○集団での遊び小さいざござなどの中で、相手に配慮するなど子ども達に成長が感じられる。

課題や反省点

- ・利用児童数が多い日は190名を超えることもあり、トラブルも頻発し、今後は適正な指導等を模索して対応していく必要がある。
- ・自由に遊びたい、家で宿題をしたくないなどの理由で体験教室に参加しない児童が出てきている。体験教室の進め方を再考していく必要を感じる。

子ども・保護者の声

〈子どもの声〉

- ◇友達と遊べて楽しい。家では一輪車とかサッカーとかできないことが、児童館だとできる。
- ◇勉強を見てもらえるからうれしい。児童館だと集中できるけど家にいるとやる気が出ない。
- ◇先生と遊べるのがうれしい。大縄跳びとか縄を回してもらえるからうまく跳べるようになった。

〈保護者の声〉

- ◇児童館に来ていると、その時間だけでも子どもがゲームから離れていられるのでありがたい。
- ◇宿題を済ませて帰るので、宿題の習慣づけとなり助かっている。
- ◇児童館にいと安心して働けてありがたい。

(立科町立立科小学校)「立科町放課後子ども教室」



事業実施状況

担当課・係	立科町教育委員会 子育て教育係
主な活動場所	児童館
	エアコンの設置(有・無)
対象児童	小学校1～6年生
実施日等	平日 教室毎の開催曜日 放課後午後3時～5時
	土日 毎月1回 午前10時～午前12時
	長期休業 夏休み9日間、春休み4日間
帰宅方法	保護者の迎え
負担金	なし
登録者数	登録は1教室、他はフリー参加 (教室1回平均17人参加)

【スタッフ(人数)】

地域学校協働活動推進員 (コーディネーター等)		協働活動支援員	
協働活動サポーター	53	特別支援サポーター	
ボランティア			

【特徴・連携等】

他事業との連携	児童クラブ	○	学習活動の特徴	自主学习	○
	学校支援			学習支援	○
体験活動等の特徴	自由活動型		その他の連携	保護者	
	プログラム型	○		他団体、組織	○

活動内容

- プログラム型の活動として地域人材を講師として登録し、各種教室を開催している。
 - 学習・スポーツ教室(年32回 学習支援やさまざまな運動遊びやスポーツ活動を行う。)
 - わくわく教室(年37回 季節の行事・内容を取入れた制作や遊びを行う。)
 - 文化伝承教室(年41回 囲碁や将棋で遊ぶ。)
 - アートチャレンジ教室(年20回 木工や工芸を体験する。)
 - 茶道教室(年4回 茶道の礼儀作法を学ぶ。)
- その他、ビーズ教室、エコ教室、手話教室、レクリエーション教室など

気づいたことや成果

- 遊びや学習時間を自分で選択し構成することで、見通しをもって活動する力が育ってきている。
- 他学年や他学級の児童との遊びを通して、人と関わる力が伸びてきている。
- さまざまな教室での体験により、児童が多様な体験をすることが可能となっている。

課題や反省点

- ・講師の高齢化が進み、引き受けてくださる方が減少している。それにともない、教室を開催できない内容も生じている。
- ・遊びや人との関係をつくりだす力の弱い児童の増加傾向がみられ、固定された関係での活動にともなう問題が見られるようになってきていること。

子ども・保護者の声

〈子どもの声〉

- ◇友だちと一緒に遊べてうれしい。家に帰ると、家が離れていてなかなか友達と遊べない。
- ◇いろいろな活動ができて楽しい。

〈保護者の声〉

- ◇安心して放課後過ごさせる場所があり、ありがたい。
- ◇さまざまな教室が用意されており、いろいろな体験に参加できることを子どもが楽しみにしている。